

## 北海道 150 年事業実行委員会（仮称）の考え方について（案）

**1 事業の推進体制等について**

実行委員会が、事業毎のプロジェクトチームを設置し、北海道みらいメンバーシップ※による民間企業や団体等の支援や事業参画等の協力を得ながら、各事業を推進する。

※個人、民間企業及び団等が参加し、実行委員会の活動を支援する制度。寄付、ボランティア及び事業参画等を想定。

**2 主な役員（案）について**

- 会 長：北海道知事
- 会長代行：北海道大学総長（北海道 150 年道民検討会議委員長）
- 副 会 長：北海道経済連合会会長、北海道商工会議所連合会会頭 等

**3 事務局について**

「北海道 150 年道民検討会議」の事務局体制を引き継ぎ、道、北海道経済連合会及び北海道商工会議所連合会の三者による共同事務局とする。

**4 実行委員会事業について**

事業毎にプロジェクトチームがそれぞれ企画・実施する。会長が指名するリーダーが各プロジェクトを総括する。

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| (1) 記念セレモニー        | 【リーダー：道】      |
| (2) 関連企画及び事業 P R   | 【リーダー：企業・団体等】 |
| ⇒ 複数のプロジェクトチームを想定  |               |
| (3) 北海道みらい事業の登録・支援 | 【リーダー：道】      |

**5 実行委員会事業（4の（1）及び（2）に係る分）の主な財源手当について**

- 道負担金
- 団体・企業・道民等からの任意の寄付
  - 直接寄付
  - 物品寄付
  - ふるさと納税制度の活用
  - クラウドファンディングの活用 等
- 事業の企画・実施

**6 スケジュールについて**

10月19日	北海道 150 年道民検討会議（最終）
11月上旬	第1回総会（設立総会）
11月下旬～翌3月	運営会議（3回程度）、プロジェクトチーム会議（適宜）
翌3月	第2回総会（事業計画（案）の承認）

# 北海道150年事業の推進体制について（検討案）

企画・計画  
予  
【体  
制】

## 北海道150年事業実行委員会

- 【活動内容】
- ①北海道150年事業の全体調整に関すること
  - ②主催事業（記念セレモニー等）の事業計画の作成及び事業の実施に関すること
  - ③北海道みらい事業の登録及び支援に関すること
  - ④北海道150年事業の全体のPRに関すること等

<構成員（案）>

- 【会長】 知事  
【会長代行】 北大総長  
【副会長】 道経連会長  
道商連会頭 等  
【理事】 団体、関係機関 等  
【監事】  
【委員】 団体、関係機関 等  
【顧問】

【事務局】 道、道経連、道商連

事業計画、予算等の承認

### 総会

※会長が総括

運営に関すること等の検討

### 役員会

※会長が総括

プロジェクトの企画・調整

### 運営会議

※座長（会長が指名）が総括

リーダーが参画

## 実行委員会事業

<実施主体> プロジェクトの事業計画作成、実施

### プロジェクトチーム

※リーダー（会長が指名）がプロジェクト別に総括

プロジェクトチーム

記念セ  
レ  
モ  
ニ  
ー

リーダー：道

プロジェクトチーム

関連企画や  
事業全体のPR

リーダー：民間企業等

プロジェクトチーム

北海道みらい事  
業の登録・支援

リーダー：道

## 北海道みらいメンバーシップ

### サポーター

【ボランティア、寄付】  
個人

### アドバイザー

【企画・助言】  
個人等

支援・協力

### スポンサー

【寄付・協賛】  
企業・団体等

運営会議に参画

### パートナー

【事業参画】（+寄付・協賛）  
企業・団体等

支援・協力

個別事業の  
企画・実施  
【実施体制】

## 北海道みらい事業

<実施主体>

道民、関係団体、民間企業、市町村等

個別事業

事業  
A

個別事業

事業  
B

個別事業

事業  
C

支援・協力

登録

※事業費及び実行委員会の負担割合等は今後精査

※（企業版）ふるさと納税やクラウドファンディングの活用についても検討